

京都府北部の交流圏域の拡大により期待できる効果

京都府北部ルートの実現は、京都府北部と関西の主要都市とのアクセス時間を大幅に短縮し、全国への移動をより速く便利にします。これにより、京都北部の交流圏域を拡大し、地域の活性化、地方創生の推進へとつながります。

観光

日本三景天橋立をはじめとした豊かな自然を有する京都府北部への観光を身近なものとし、全国から観光客の増加が期待できます。

生活

通勤・通学・医療・買い物や帰省など日常の行動範囲を拡大し、生活をより便利で豊かなものにします。

地方交通

JR在来線や京都丹後鉄道、バス・タクシー・フェリーなどの利用が増え、地方公共交通の維持・発展へとつながります。

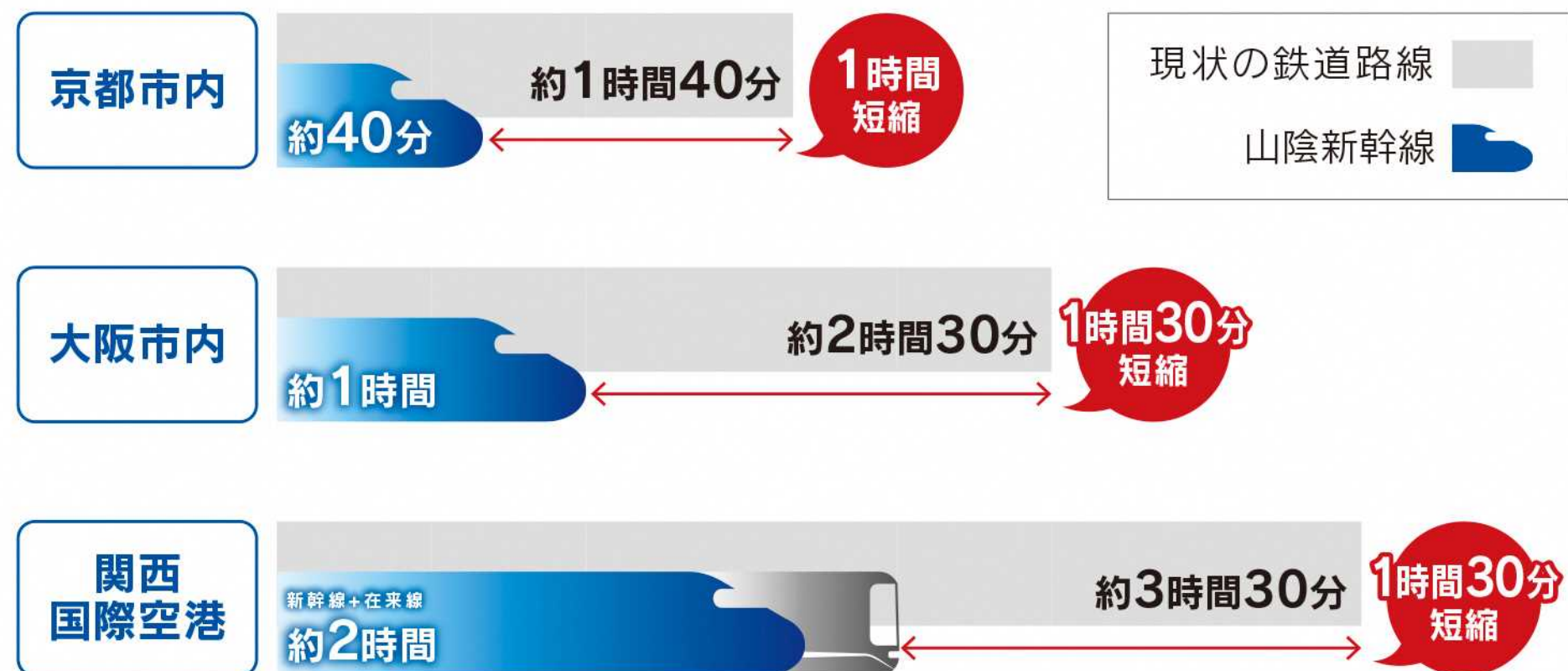
防災

安全・安定輸送に優れている新幹線により、地域の防災力の向上につながります。
また、日本全体においては日本海国土軸の形成や大規模災害時におけるリダンダンシーの確保につながります。

経済

産業の活性化、物流の効率化、新たな企業誘致や雇用の創出が期待できます。
さらに、コロナ禍により変化した新しい働き方を実践する場所として、京都府北部への移住やワーケーションの利用など関係人口の増加も期待できます。

京都府北部からのアクセス時間の短縮効果



夢と希望を運ぶ 山陰新幹線を 京都府北部へ



海の京都







山陰新幹線を京都府 北部地域連携都市圏へ

山陰新幹線の意義

山陰新幹線は、日本海側の重要地域と全国の主要都市を結ぶ「**新幹線ネットワーク**」を実現し、「**日本海国土軸**」の形成と日本海側地域と太平洋側地域の連携を強化します。

山陰新幹線が日本海側の重要地域である京都府北部地域（京都府北部地域連携都市圏）を経由することは、「**日本海側地域の発展、地方分散型社会の構築**」につながり、日本全体の国益に寄与します。

-  営業区間(建設中含む)
-  ミニ新幹線区間
-  建設予定区間
-  リニア(建設中・予定)

日本海国土軸



太平洋国土軸

日本海側の発展が 将来の日本の国益

京都府北部地域連携都市圏の強み

1 広域観光の拠点

観光庁に認定された「海の京都観光圏」として、年間1,026万人(※1)の観光客が訪れる「広域観光の拠点」

2 ものづくり産業の拠点

多様な工業団地等が集積し、年間7,513億円(※2)規模の製造品出荷額を誇る「ものづくり産業の拠点」

3 交通の拠点

近畿日本海側で唯一の重要港湾である京都舞鶴港を有し、整備された高速道路網、重要な鉄道路線がある「交通の拠点」

4 国防の拠点

陸上・海上・航空自衛隊基地、アメリカ陸軍通信所が集積する「国防の拠点」

5 海の安全の拠点

第八管区海上保安本部・海上保安学校が所在する「海の安全の拠点」

6 関西経済圏のエネルギー拠点

火力発電所や原子力発電所が立地・隣接する「関西経済圏のエネルギー拠点」

7 リダンダンシー確保

災害に強い京都舞鶴港を有し、南海トラフ地震等の大規模災害時におけるリダンダンシー機能を備える重要な拠点

8 高い合計特殊出生率

全国でも類を見ない高い合計特殊出生率(域内平均1.83)(※3)(全国平均1.43)



※1) 2019年 京都府観光入込客調査報告書 ※2) 2020年 工業統計調査
※3) 厚生労働省公表の人口動態調査の結果(2013~2017年)を基に独自集計